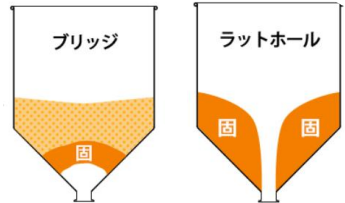


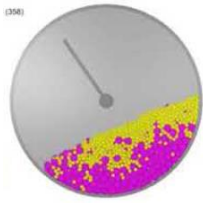


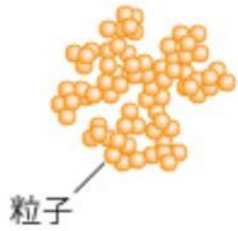

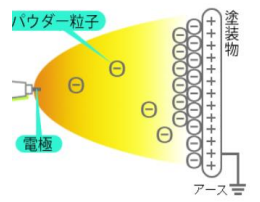


受託測定のご案内

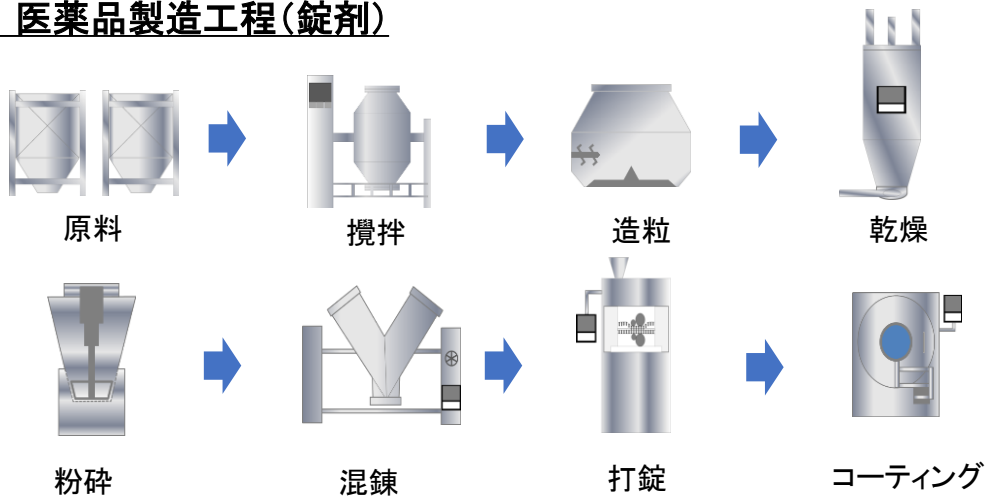
粉体のトラブルでお困りはありませんか？

粉体流動性に起因する粉体トラブルは多種多様

				
<p>排出トラブル： 閉塞(ブリッジ)、ラットホール</p>	<p>排出・輸送トラブル： 噴流(フラッシング)</p>	<p>攪拌・混合トラブル： 偏析</p>	<p>攪拌・混合トラブル： 摩耗</p>	
				
<p>トラブル：付着</p>	<p>トラブル：凝集</p>	<p>トラブル：固結</p>	<p>トラブル：帯電</p>	

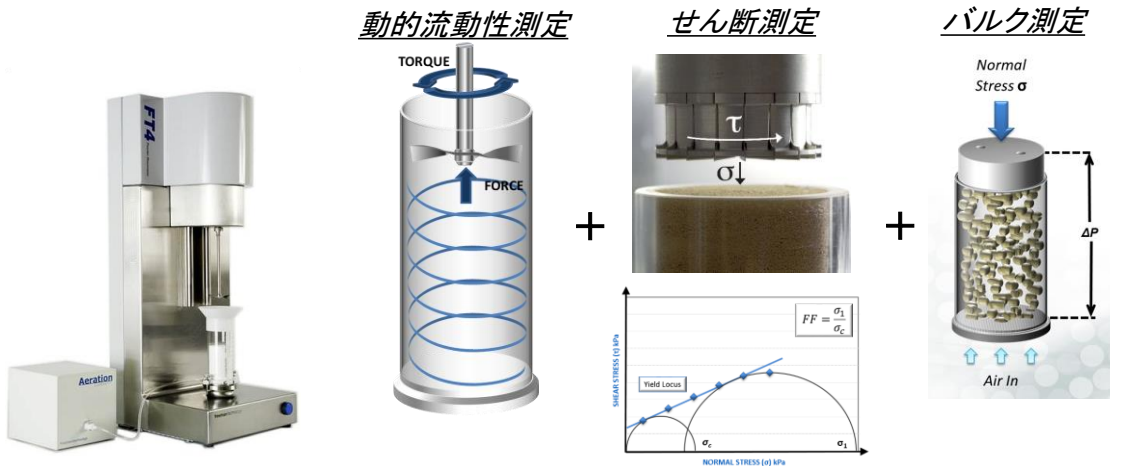
粉体トラブルが発生する場所も多種多様

例) 医薬品製造工程(錠剤)



英国フリーマンテクノロジー社製
粉体流動性分析装置パウダーレオメータ FT4

1台で3通りの粉体流動性を測定し、対象サンプルの多面的な評価が可能



FT4の測定項目
(全7項目)

動的流動性測定:

1. 基本流動性測定
2. 通気測定
3. 圧密測定

せん断測定:

4. せん断測定
5. 壁面摩擦測定

バルク測定:

6. 圧縮性測定
7. 透過性測定

動的流動性測定:

1. 基本流動性測定: 粉体を動かすことで得られる「動的流動エネルギー」を測定
2. 通気測定: 粉体中に空気を吹き込むことで、粉体間の凝集度合を測定
3. 圧密測定: 粉体を圧縮した後の状態変化を測定

せん断測定:

4. せん断測定: 粉体同士の付着力を測定
5. 壁面摩擦測定: 粉体と製造設備との付着力を測定

バルク測定:

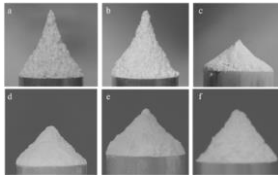
6. 圧縮性測定: 粉体を圧縮して、かさ密度、充填状況を測定
7. 透過性測定: 6. に加えて粉体中に空気を封入し、充填状況を詳しく測定



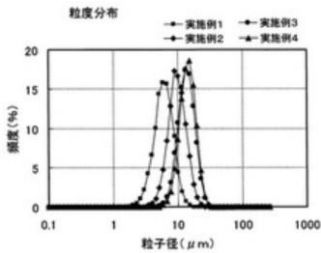
これらの結果を元に粉体物性を多面的に評価します

粉体流動性を多面的に分析することで 従来法では分からなかった違いが見えてきます

従来の測定方法(粒度分布、安息角測定など)では、違いが分からなかった粉体特性が、FT4なら見えてきます。



安息角測定



粒度分布測定

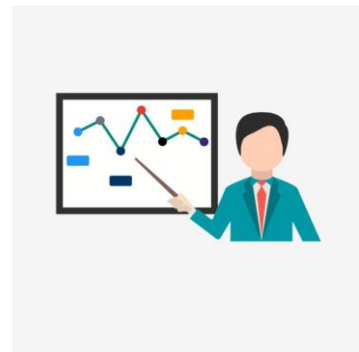


トラブルの予見、防止、対策、改善が可能となります。

当社の特長： 測定結果だけでなく、経験豊富な担当者がデータを解説します。



測定報告書



データの解説

お問い合わせ：
ライフィクスアナリティカル株式会社
電話：06-4802-8686
Email: nishimura@reifycsant.com